

「原爆記念日、そして終戦記念日」

校長 有菌 公博

右の写真は、幼子をおんぶした少年の写真とされています。よく修学旅行等で訪れる長崎原爆資料館に展示されているものです。唇をかみしめ、一見凜とした表情で立っていますが、実は、原爆で命をなくした幼子を焼くために待っている少年の写真です。弟か妹なのでしょう。



まもなく8月6日、そして9日を迎えます。広島、長崎に原子爆弾が投下された「原爆記念日」、そして8月15日は「終戦記念日」です。「記念」というと「創立記念」「結婚記念」のように、めでたいことに使われる印象がありますが、本来の意味はそうではありません。「記念」という言葉、頭から読めば「記して念ずる」で「忘れないようにする」「忘れることのないように決意する」という意味です。

したがって「原爆記念日」、「終戦記念日」は「原爆が投下され、幾万人もの尊い命が奪われてしまった過去の現実、そして、戦争が終わったこと、転じて戦争の時代があったこと」を「忘れてはならない日」だと思います。その戦争がなぜ起こったのか、人類はなぜ戦争を起こしてしまったのか、平和な世界を築きあげるために、私たちはどうすべきなのか、などを考える日と言えます。

1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分、広島市に投下された原子爆弾（ウランウム型）により、広島市の当時の人口35万人のうち、約14万人が犠牲となりました。また、8月9日午前11時2分、長崎市に投下された原子爆弾（プルトニウム型）によって長崎市の人口24万人のうち、約14万9千人が犠牲となりました。

爆心地500m圏内では、巨大な爆風圧が建築物の大半を一瞬にして破壊、強烈な熱線により屋外にいた人は内臓組織に至るまで全身の水分が蒸発・炭化。爆心地1キロ圏内であっても、爆風は一瞬にして衣服どころか、重度の火傷を負った皮膚をもはぎ取ってしまいました。眼球や内臓が飛び出す人々もいました。

爆心地2キロ圏内、木造家屋は一瞬にして倒壊、熱線により起こった火災に巻き込まれて死亡した人々、爆風で吹き飛ばされたガラスや破片で犠牲となる人々もいました。大火による熱気が火災旋風を引き起こし、半径3キロ圏内であっても9割の家屋が焼失しました。また、原爆炸裂の高温によって、上昇気流に乗って巻き上げられた粉じんを含むキノコ雲が発生し、熱気が上空で冷やされ、放射能を含んだ黒い雨となりました。「水を水を」と飲んではいけな水を口にして死亡したり、川に飛び込んだりする人々もいました。勤労奉仕として来ていた生徒が全員死亡した学校も数多くありました。



<キノコ雲>

爆風速度は強い台風を中心速度の10倍、爆風のエネルギーは風速の三乗といえますから、原爆の爆風は台風の暴風エネルギーの1000倍というとても強いものです。その後、生き残った人々でも、原爆病に苦しみ、被爆者は「放射能をうつす存在」とか重い火傷の跡から、就職や結婚など偏見・差別に苦しみ深刻な影響を与えることになりました。また、生まれてくる赤ちゃんが胎内被爆により小頭症を発症するなど、人々は終戦後も苦しみ続けることになりました。

こうした現実を後世に伝えようと、語り部として被爆体験を語り続けている方々がいることを知っていますか。家族を引き裂くどころか、脳裏に焼き付く街全体が燃えていく様子など消し去りたい思いを後世に語り継がねばと、語り部として年を重ねても頑張っている方々もいます。

1945年のこの日から75年が経ち、戦争を体験した方々も亡くなられたり、高齢となっております。私たちは、幸運にも戦争を知らない世代ですが、過去に悲惨な現実があったこと、そして、二度とこのような事が起こらないために、起こさないためによく考え、行動し、また、後世に伝えていく義務があると考えています。

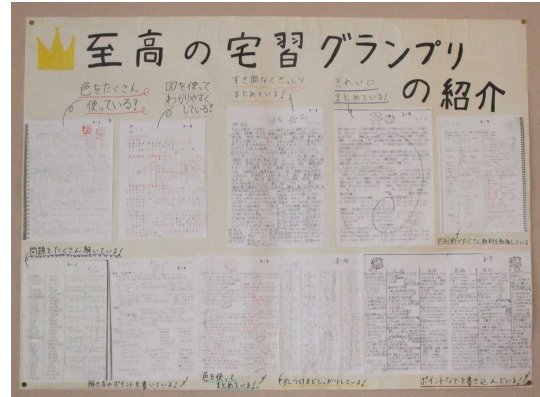
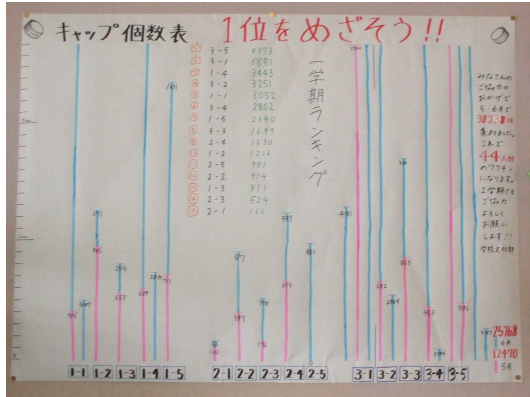
8月6日の午前8時15分、9日の午前11時2分には、犠牲となった幾万人の方々へ追悼の気持ちで黙祷してほしいと思います。また、御家庭でもテレビや新聞など報道を通じて、子どもたちと一緒に原爆や戦争という人類の侵した過ちについて学び、是非、世界の平和について考えてみてください。

【7月の学校の様子から】

◇ 生徒会活動 ◇

生徒会が中心となって、エコキャップ運動を行っています。これは、以前、テレビの商業でも放映されていましたが、このキャップの回収金で世界中の子供たちにワクチンを提供できるという取組です。

また、学び舎である雰囲気を醸成するために、2・3年生の見本となる宅習帳を紹介し、学力向上に向けた取組を始めています。



◇ 合唱部、吹奏楽部によるサマーコンサート ◇

7/14(火)は合唱部、15(水)には吹奏楽部によるサマーコンサートが昼休みに開催されました。長雨が続き、生活しづら日々が続いていますが、そのどんよりとした雰囲気を吹き飛ばす、晴れやかな歌声、力強い演奏でした。



【8/21(金)、9/1(火)の日程について】

○ 8/21(金)	出校日 通常登校・朝読書
8:20~8:30	全体職朝
8:35~8:45	短学活
8:55~9:25	全校朝会(放送)
9:40~9:55	作業
10:05~10:35	学活 ※課題等の提出
10:50~11:20	応援団結団式

9/1(火)	始業式 通常登校・朝読書
8:20~8:30	全体職朝
8:30~8:40	短学活
8:50~9:40	始業式
9:50~10:20	学活① ※主に課題等の提出
10:30~11:20	学活② 給食なし、下校

【体育大会について】

- 日時 令和2年9月13日(日) 8:30~12:30(完全終了)
- 場所 本校グラウンド
- 連絡 ○ 新型コロナ対応により、種目を精選し、午前中のみ開催とします。
○ 当日は、必ず家庭で検温を行い、校内ではマスク着用をお願いします。携帯用の消毒をお持ちの方は是非御持参ください。熱中症対策も各自お願いいたします。
○ 大会当日、昼食時間は設けませんので御了承ください。